

令和3年11月2日

鳥取県知事定例記者会見

青谷弥生人 大搜索作戦 始動！

えっ！
私のことですか？

★青谷弥生人の“そっくりさん”募集！（性別・年齢は問いません）
ルーツかもしれない

「とっとり弥生の王国」へご招待

特典：入賞者（10名）を1月に発表し、「とっとり弥生の王国」の国民に登録

5月頃に「青谷弥生人大集合」ツアーに招待し、グランプリを決定

賞品：グランプリをはじめ、入賞者には、“青谷弥生人も食べていた！”

鳥取県の美味しいジビエなど豪華賞品をプレゼント

募集期間：11月2日（火）～12月19日（日）

応募方法：メールに住所、氏名、電話番号を記載、写真を添付して送付
（郵送も可）

送付先：とっとり弥生の王国推進課（tottori-yayoi@pref.tottori.lg.jp）

青谷弥生人を
探しています！

★名前も募集！

賞品：最優秀賞、優秀賞の各1名には鳥取県の特産品など豪華賞品をプレゼント

募集期間：11月2日（火）～12月19日（日）

応募方法：メールに青谷弥生人の名前と名付けの理由、応募者の住所、氏名、電話番号を記載して送付（郵送も可）

* 詳細はとっとり弥生の王国推進課ホームページをご覧ください。



鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例案

【パブリックコメント・県政参画電子アンケート結果（募集期間10/8～22）】

パブコメ意見 146件 条例制定に反対意見なし

電子アンケート 盛土等の規制が必要 90%

【条例案の概要】

以下の行為は知事の許可が必要

➤ 一定規模以上の盛土・切土

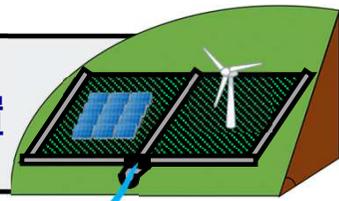
残土処分場や宅地開発など



「面積2,000㎡以上かつ高さ1 m以上」又は「高さ5 m以上」

➤ 斜面地に設置する一定規模以上の工作物設置

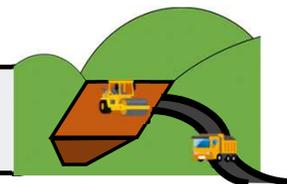
太陽光・風力発電施設など



「面積300㎡以上」又は「高さ15m以上」の工作物

➤ 一定規模以上の建設発生土搬出

500㎡以上の建設発生土を事業区域外に搬出



許可と併せて以下を義務づけ

✓ 近隣関係者への事前説明

許可申請前に、事業計画を近隣関係者に説明

✓ 中間検査、完了検査

技術基準適合を審査・現地検査

✓ 定期報告

- ・ 施工状況を6か月毎
- ・ 事業完了後、維持管理状況を1年毎
- ・ 盛土・切土は10年間、工作物は撤去されるまで

✓ 保証金の預託

- 斜面地の盛土・切土、工作物設置は保証金預託
- ・ 預託期間は完了検査合格まで（工作物は撤去まで）
 - ・ 3年以上の期間は分割預託可で事業者の負担軽減

鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例案

➤ 監督・命令

✓ 巡視活動

土砂の不法投棄、無許可工事等を監視
巡視員を配置し定期巡回

✓ 勧告・公表

災害の発生防止のため必要な措置を勧告
従わない場合、事業者名を公表

✓ 報告の徴収及び立入調査

報告・資料の徴収
現場・事務所等への立入調査実施

✓ 命令

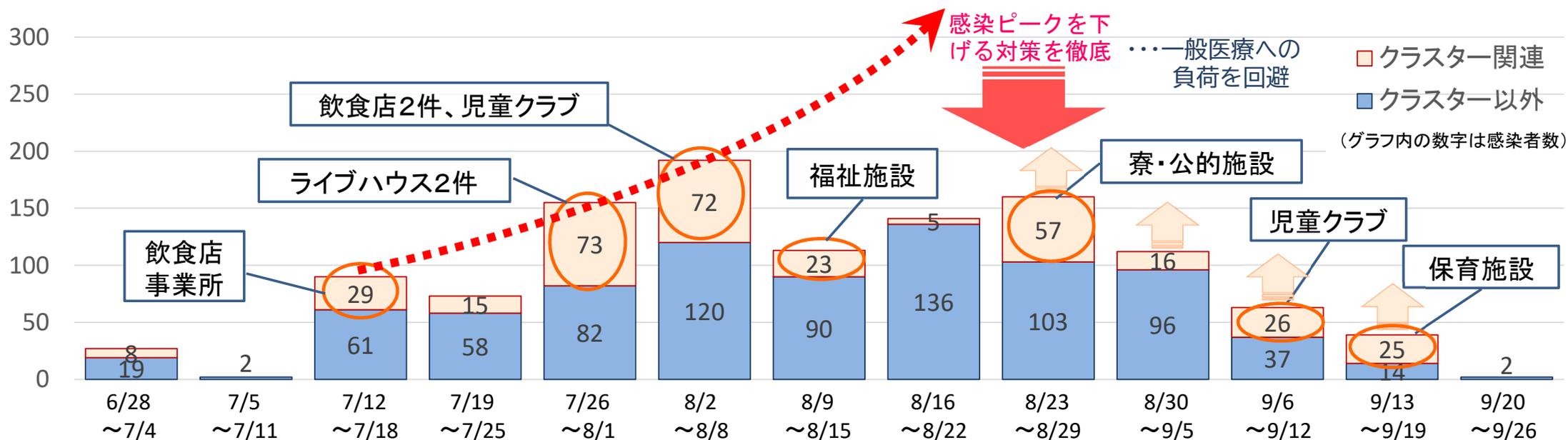
災害発生のおそれがある場合
事業停止、盛土・工作物の撤去等を命令

➤ 違反行為に対する罰則

✓ 無許可、命令に従わない場合、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金

条例案は11月定例県議会に提案予定（令和4年5月1日施行予定）

鳥取県は第5波の感染をどのように収束させたか



● 感染対策の基本を実直に継続

- ・ 鳥取方式による徹底した疫学調査で陽性者をすばやく囲い込み
- ・ クラスター対策で新たな感染連鎖を早期にストップ

➡ 感染ピークの上昇を防ぐことで、早期の収束につながった
 クラスター以外の感染者数も早期に一定レベルで抑さえ込んだ

感染者数を抑えることが感染爆発・医療ひっ迫を防ぐ

鳥取県の状況

(1)陽性者の確認

・検査機関等から1日複数回保健所へ連絡があり、即座に積極的疫学調査に入る。

(2)陽性者への疫学調査

・陽性判明の当日中には遡り調査で行動歴を確認。

(3)接触者への検査

・濃厚接触者以外の接触者も速やかに幅広く検査を実施。

⇒陽性者の周辺を早期に囲い込み、感染拡大を最小限に抑え込む。

(4)入院・療養先の調整

・全員入院により陽性者の症状を的確に把握。

・感染拡大時にはメディカルチェックセンターにより病状を評価し、保健所長が医師の所見を参考に入院・療養先を選定。

(5)入院

・陽性者の状態に応じた医療を提供。

(6)療養者へのケア

・自宅療養者等への定期的な健康観察により重症化を防ぐ。

⇒陽性者の状態に応じたケアを実施し、重症化を未然に防ぐことにより、医療提供体制のひっ迫をきたさない。

感染抑制がなされないと

(1)陽性者の確認

・陽性者の急増に対し、保健所職員の数不足、初動となる積極的疫学調査の聞き取りまでに数日を要してしまう。

(2)陽性者への疫学調査

・マンパワーが足りず、陽性者に対する聞き取りは病状等の確認程度(遡り調査まで対応出来ていない)。

(3)接触者への検査

・陽性者の周辺の幅広い検査が実施できない。

⇒陽性者の周辺の囲い込みが十分にできず、囲い込みから漏れた陽性者がさらなる感染拡大の要因となる。

(4)入院・療養先の調整

・病床や宿泊療養施設のひっ迫により、受け入れ先の調整に難航。

・保健所管轄を跨ぐ広域調整も十分に機能出来ていない。

(5)入院

・病状に応じた病床に入院できず適切な医療が提供できない。

(6)療養者へのケア

・自宅療養者等への定期的な健康観察にまで手が回らず重症化を招く要因となる。

⇒陽性者のケアが不十分となり、重症化を見逃すこととなり、医療提供体制の崩壊をまねく。

第6波に向けた検査体制の強化

◎衛生環境研究所のPCR検査能力を向上

遺伝子抽出装置の追加導入により280件/日→**370件/日**
(6台→8台)

遺伝子抽出装置:既設6台で1回あたり72件分抽出可能→2台増設し1回あたり96件分へ
PCR装置は1回あたり93件検査可能であり、PCR装置の能力に合わせて抽出装置を追加整備

★検査の流れ

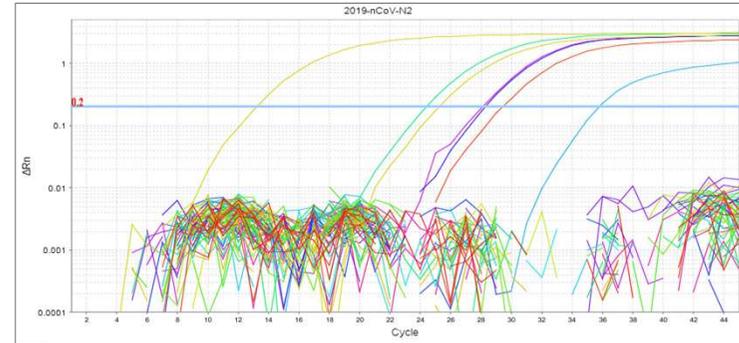
遺伝子抽出



抽出液・試薬混合



PCR検査



◎全ゲノム解析により変異株の県内の流行状況を監視

県内・国内ともにデルタ株がほぼ100%

→スクリーニング検査なしで全ゲノム解析を行い、
新たな変異株(デルタプラス)の流入を監視

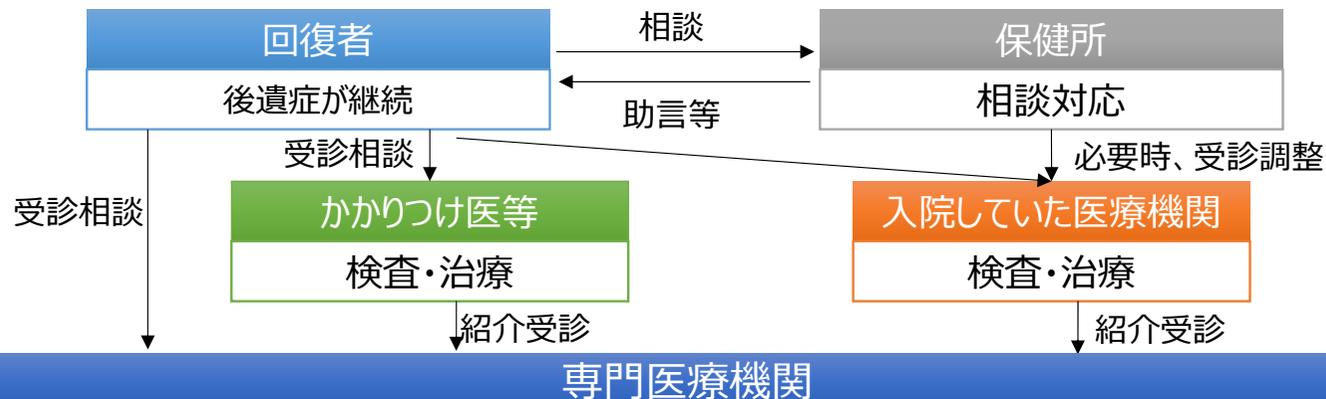
後遺症の相談・医療体制整備

新型コロナから回復後も、疲労感、倦怠感、思考力低下、味覚・嗅覚障害などの症状が続く患者が一定数存在



保健所での相談対応に加え、かかりつけ医、入院医療機関、専門医療機関の連携による医療体制を構築

〈後遺症に関する相談対応・医療体制〉



【問い合わせ先】

県立中央病院：総合内科（電話：0857-26-2271）

県立厚生病院：地域連携センター（電話：0858-22-8181）

鳥取大学医学部附属病院：新型コロナウイルス感染症後遺症外来（電話：0859-38-6692）

注）紹介状がない場合、特別の料金（選定療養費）5,500円が必要になります。

新型コロナウイルスワクチンの県内接種状況

接種対象人口の81.0% (全人口の73.1%)
が2回目接種を完了しました！



	1回目接種数	2回目接種数
接種数	421,096回	407,059回
接種率(住民基本台帳全人口)	75.6%	73.1%
<u>接種率(12歳以上接種対象人口)</u>	<u>83.8%</u>	<u>81.0%</u>

10月31日時点 ※VRS未入力者数を含む

ワクチン未接種者の方への接種勧奨キャンペーン

第5波新規陽性者の約9割が2回目未接種です。接種されていない方は、早めの検討を！

つなぐ・つながるワクチン接種キャンペーン

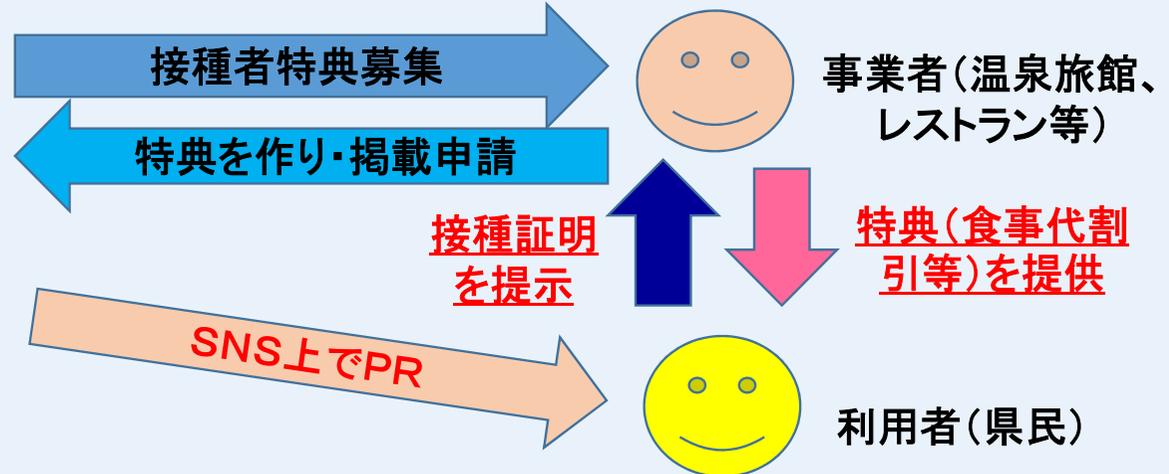
< ワクチン接種 応援キャンペーン >

▼ ワクチンの2回接種で受けることができる特典情報をまとめたページを、ローカルメディア内に開設するとともに、広く県内事業者の皆さんから特典情報を募集、まとめページで大々的にPR。

鳥取県

ローカルメディアサイト内 特典まとめページ

・いこい亭菊萬:接種者向け割引プラン
・カジュアルキッチン・テイク:食事代
10%引き 等



< ワクチン接種 生保タイアップキャンペーン >

▼ 県が包括連携協定を締結している生命保険各社(第一生命、日本生命、明治安田生命)とタイアップし、生保外交員による、県作成ワクチン接種勧奨チラシの配布を実施。

・県営ワクチン接種センターは、11月6日(土)7日(日)の2日間、予約なし接種枠を拡大して実施します！

医療従事者の追加接種（3回目接種）について

12月1日開始に向けて、接種の支援促進



2回目接種から8か月
たった方

⇒ 接種券郵送

市町村

11月22日
接種券郵送予定

医療従事者

<病院勤務>

各病院で接種

<診療所勤務>

自施設で接種希望

各診療所で接種

<上記以外>

市町村の接種会場
で接種

鳥取県

病院等の接種方法やワクチン希望量
を調査し、市町村に仲介

<ワクチン>

5月末までの接種実績26,178人

← 国配分23箱(26,910回分) +
県プール分8箱(9,360回分)を市町村に配分

ワクチン供給

「とっとりサウナCEA」の任命

「ととのう とっとり サウナ旅」の広告塔として、熱波師（琴浦町地域おこし協力隊）の五塔熱子氏を任命！

CEAとは・・・Chief Executive Aufgusser
最高経営アウフギーサー
（アウフギーサーは熱波師の独語）



任命式：11月5日（金） 15:30～
知事から任命証を手交

○県公式サウナ専門サイト・Twitterを11月9日（火）に開設！

○11月6日（土）・7日（日）には琴浦町で「惑星コトウラフェス」を開催



第2回日本伐木チャンピオンシップin鳥取

チェーンソーの「安全性・正確さ・スピード」の技術力を競い合う全国大会を開催『林業』の新たな魅力を鳥取県から発信！

日時

令和3年11月6日(土) 9:00~16:00
11月7日(日) 9:30~16:00

場所

東伯郡北栄町由良宿 出合いの広場

主催

日本伐木チャンピオンシップin鳥取 実行委員会

(鳥取県林業担い手育成財団、鳥取県森林組合連合会、鳥取県、中部地区市町ほか)



参加選手

61名(うち県内から16名) : プロフェッショナルクラス35名 ビギナークラス26名

種目

5種目の競技を実施、総合得点により順位を決定



・厳重な新型コロナウイルス感染症対策を徹底実施し、感染状況等により開催内容の変更もあります。